

**令和4年度進行管理・評価シート**  
**向日市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）**  
**（最終変更 令和2年5月14日）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)	
1 向日市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観法、屋外広告物法に基づく連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡長岡宮跡保存活用事業	3
2 竹の径景観保全事業	4
3 桜の径景観保全事業	5
4 長岡宮跡周辺道路美装化事業	6
5 長岡京・平安京連携事業	7
6 長岡京広報・PR事業	8
7 向日市文化資料館企画展実施事業	9
8 歴史資源調査活用事業	10
9 市民歴史活動連携事業	11
10 地域歴史ボランティア養成事業	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)に関する事	13
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、 文化財の防災に関する事	14
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への 助成・支援や連携・協力した取組みに関する事	15
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	17

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	18
-------------------------	----

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

向日市歴史的風致維持向上協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	--	---

計画に記載している内容

「向日市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。本計画の実現に向けて、ふるさと創生推進部企画広報課、建設部都市計画課及び教育部文化財調査事務所が事務局となり、庁内関係各課で組織されている「向日市歴史まちづくり庁内推進会議」において、計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、地元関係団体、行政(国、府、市)により構成される「向日市歴史的風致維持向上協議会」委員から歴史的風致維持向上に資する事業内容について意見を聴取した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

令和5年2月15日(水) 令和4年度第1回向日市歴史的風致維持向上協議会開催

- 【内容】 (1)向日市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について  
 (2)令和5年度実施予定事業の主なものについて



令和4年度第1回向日市歴史的風致維持向上協議会の様子

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度
	令和4年度 現在の状況

景観法に基づく連携 屋外広告物法に基づく連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------	---

計画に記載している内容

景観計画の策定の中で、景観計画区域を市域全域に位置付け、本市の特徴を「歴史的景観」「自然的景観」「市街地景観」の3つに分類し、それぞれの地域特徴に応じた景観形成に努めることとしている。このうち特に、向日丘陵の自然景観、向日神社や西国街道沿いの歴史的景観、阪急向日町駅周辺の良い良好な低層住宅地景観などは本市として守っていき、また、良好な景観を形成していくべき地区であることから、「景観重点地区候補地」に位置付けることを検討している。

なお、景観計画は、この歴史的風致維持向上計画の内容を反映したものとし、歴史的風致の維持向上にも期するものとする。

また、屋外広告物は、景観に対する影響が大きいことから、景観計画の中で、屋外広告物に対する考え方を整理し、向日市らしい屋外広告物の施策を調査・研究することとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

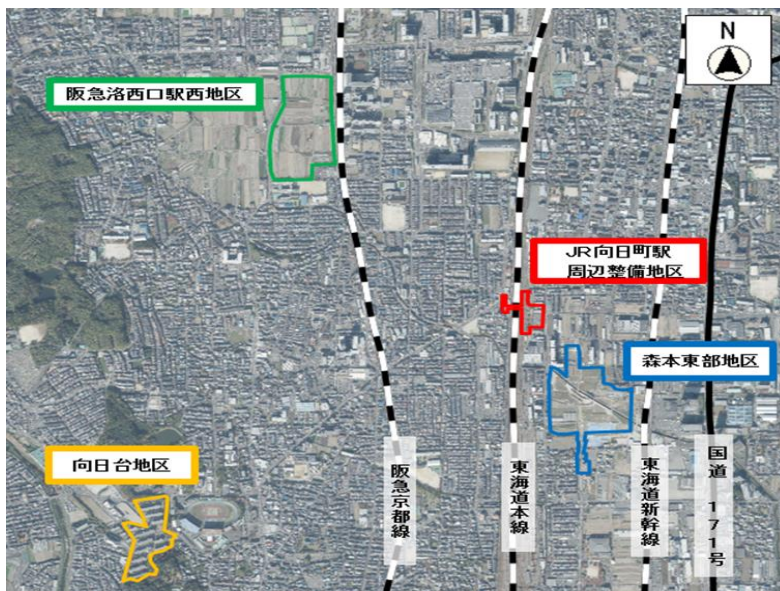
歴史的風致維持向上計画との整合においては、地域特性に応じた規制誘導が必要である。しかし、地域特性に応じた規制誘導については、地域住民の協力・理解が必要不可欠である。そのため、地域住民との合意形成を図りながら規制誘導を定める手法として、都市計画法に基づく地区計画制度の活用が重要となる。

このことから、景観計画の策定支援に関する要望があった際には、積極的に支援する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上計画と整合を図るためには、地区計画制度の成功事例を1つ1つ積み重ね、各地域に地区計画制度を浸透させ、地域住民が主体となった地域特性に応じた規制誘導が必要となる。本市では、市街地開発事業による新たなまちづくりに付随して良好な都市環境・都市景観を形成するため、阪急洛西口駅東地区などの地区計画を都市計画に定めているが、既存住宅地で地区計画を定めた事例はない。このことから、良好な景観の形成・保全に意欲のある地域の取組を促進するため、引き続き、まちづくり条例に基づく支援を図る必要がある。 <p>現在、JR向日町駅東口開設に関連した周辺整備やJR向日町駅東側の森本東部地区及び、阪急洛西口駅西地区における新たなまちづくりなど、まちの構造が大きく変化する事業が進められていることから、それら主要事業との調整を図る必要も生じている。</p> <p>また、府営住宅建替についても、事業化されたことから、今後、具体的に景観を含めたまちづくりについて調整を図る必要がある。</p>
--	---

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
史跡長岡宮跡保存活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和56年度～令和6年度		
支援事業名	文化財保存整備費(歴史生き生き史跡等総合活用整備事業、史跡等購入費国庫補助金等) 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	史跡長岡宮跡を適切に保存し活用を促進することを目的に、史跡の拡充・拡大と公有化を図るとともに、目に見えない史跡をより体感できるよう、ARやVRなどのソフト面、現地の遺跡表示などのハード面の整備を行う。整備に際しては、文化庁や京都府教育委員会など関係機関と十分に協議・調整を図り、地下遺構や史跡景観を損なわないよう実施する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1 平成26年3月26日に史跡長岡宮跡として追加指定を受けた長岡宮大極殿東面回廊地区を公有化した。  
**【史跡長岡宮跡】**  
 史跡指定面積 15,697.27㎡ うち本年度公有化面積 1,068.09㎡  
 公有化面積 13,406.57㎡ ⇒ 14,474.66㎡ / 公有化率 85.41% ⇒ 92.21%  
 整備面積 12,030.01㎡ / 整備化率 76.64%

2 平成22年度整備が完了した史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂地区(朝堂院公園)、及び令和2年度に整備が完了した史跡長岡宮内裏内郭築地回廊及び外郭築地地区(旧上田家住宅)に案内員や会計年度任用職員を配置し、史跡や国登録有形文化財、市内の歴史文化遺産案内解説など活用の促進を図った。  
 また、旧上田家住宅は内蔵だけではなく、主屋やかまど、離れなどそれぞれ個別に貸し出しており、作品展の他に、これまで茶会や餅つき、尺八の演奏会、各種教室など、地域の方に有効利用していただいている。

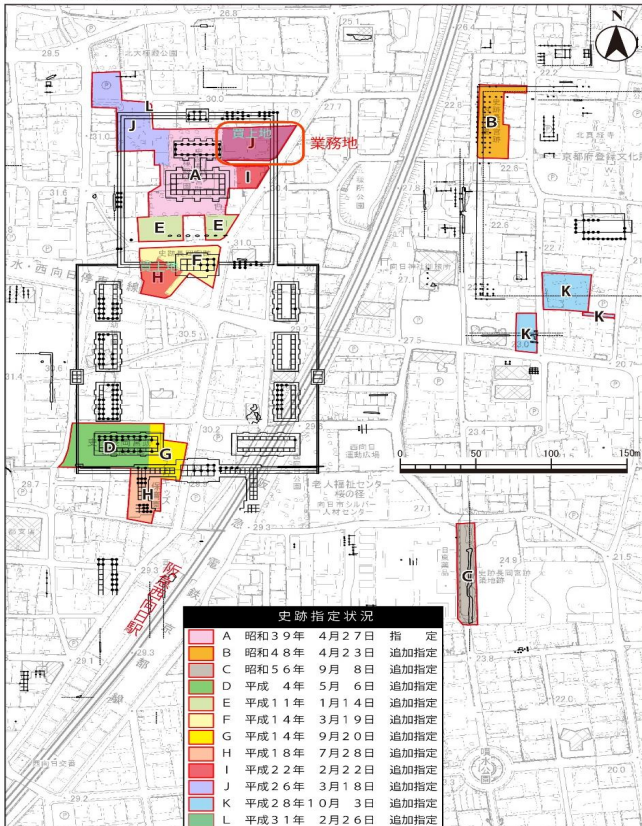
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、大極殿跡、朝堂院跡、内裏跡を含めた史跡長岡宮跡の拡充・拡大と保全整備を実施し、市域の歴史・文化資源や公共施設、交通機関等を連結するネットワーク化を図るなど活用の促進を図る。
--	---

状況を示す写真や資料等

長岡宮跡史跡指定範囲図



旧上田家住宅



旧上田家住宅の内蔵を活用したアートギャラリー展  
(令和4年8月19日～11月3日)



朝堂院公園

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
竹の径景観保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成12年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的資源であるタケノコづくりから出る廃材などを利用し、延長約1.8kmに設置された8種類の竹垣の保全改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
竹の径に設置されている竹垣の保全改修を行い、周辺環境の保全と回遊性の向上を図ることができた。 整備延長 255.5m			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
全国で良質な筍の産地として知られている本市北西部にある向日丘陵の竹林の景観を保全するため、環境整備(放置竹林対策・不法投棄防止)された竹の径。 この竹の径は、「全国遊歩百選」「歩きたくなるみち500選」等に認定され、また「京都府景観資産」「京都府文化的景観」に選定されるなど、市内外を問わず竹林浴の地として親しまれており、整然と連なる竹垣は、この地域産出の竹材を用い、継続的に整備している。			
			
(整備前)		(整備後)	
			
			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
桜の径景観保全事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和40年代～令和6年度		
支援事業名	平成27年度～平成30年度:社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) 令和元年度～令和6年度:市単独事業		
計画に記載している内容	桜の木の成長による根上がりから道路構造物が破損しているため、桜の木の環境にも配慮しながら、安全性の向上、歩車道空間を含めた景観保全のための道路改良や、それらとあわせた樹木の剪定、消毒、古木の伐採や植栽を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
桜並木の剪定や古木の更新を行い、桜の径の景観保全を図ることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

阪急西向日駅南東の桜並木が広がる閑静な住宅街にあり、噴水公園を中心に町並みの景観を生かした散歩道として整備され、平成30年3月に「西向日・桜の径と住宅地景観」として京都府景観資産に登録されている。  
桜の根上がりなどを継続的に補修し、景観の保全と道路の維持管理を図っている。



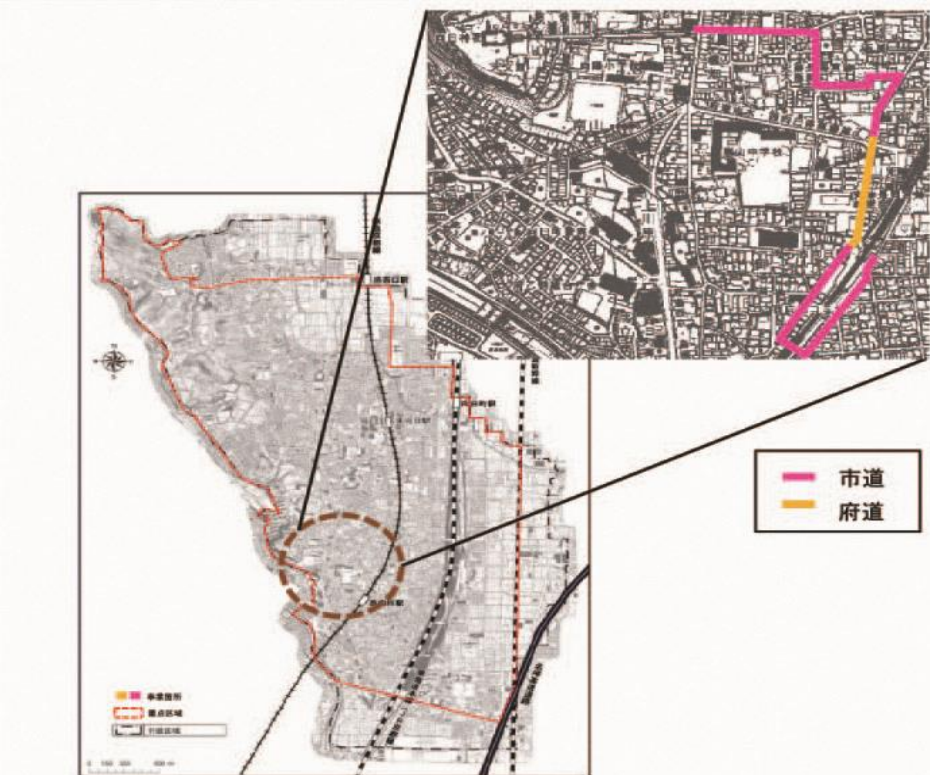
桜の径

(整備後)



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
長岡宮跡周辺道路美装化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和6年度		
支援事業名	向日市:平成28年度～令和2年度 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) 京都府:令和2年度～令和6年度 社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金(交安)事業) ※向日市歴史的風致維持向上計画の計画期間(令和6年度)満了後も事業継続予定		
計画に記載している内容	史跡長岡宮のそれぞれの遺跡や向日神社などを結ぶ道路について、京都府(府道)と市(市道)で連携、役割分担しながら、公共交通機関である阪急西向日駅から史跡長岡宮跡のそれぞれの遺跡や、向日神社を結ぶ道路の美装化(カラー舗装など)を実施する。 また、併せてカーブミラーや各種標識柱などを統一的な様式で整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度～令和4年度で道路改良計画を策定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路拡幅を予定しているため、用地買収の進捗が課題となっている。		
状況を示す写真や資料等			
			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
長岡京・平安京連携事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	長岡京の次に、隣接する京都市に平安京が建都されたことから、共通するそれらの歴史や歴史的風致をキーワードとして、京都市と協働で「竹の径・かぐやのタベ」や歴史巡りウォーキングなど効果的なイベント事業を検討し、実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
美しい田園風景や桜や紅葉など京都西山エリア(京都市西京区(洛西)、向日市、長岡京市、大山崎町)の景観の維持や観光地としての魅力向上に取り組む大原野保勝会と連携し、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町の3市1町にまたがり、「京都西山」ブランドのPRを実施することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



サイクルツーリズム事業  
「京都西山ヒルクライム参拝」ロゴ

「京都西山」PRポスター



向日市・京都市協働イベント「竹結びフェスタ」×「竹の径・かぐやのタベ」 令和5年10月22日(土)、23日(日)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
長岡京広報・PR事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	長岡京が向日市にあったことを市内外に周知し、認知度を向上するため、長岡宮跡の共通ロゴやPR動画などの作製など、広報PR活動を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
引き続き、ロゴマークを活用したグッズ販売を行うとともに、令和4年度はPR動画の作成や市公式SNS等においてゆるキャラを活用した市のPRを行い、長岡京が向日市にあったことを市内外に周知することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>【ロゴマーク】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>むこうし <b>向日市</b> 古都のむこう 魅力のふるさと Muko city, Kyoto-The ancient capital full of the historic charms.</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ピンバッジ (1個300円で販売)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>むこうまんじゅう 市内事業者が開発・販売</p> </div> </div> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>PR動画リニューアル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市公式インスタグラムを活用したPR (旧上田家住宅)</p> </div> </div>			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
向日市文化資料館企画展実施事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和59年度～令和6年度		
支援事業名	令和4年度:文化芸術創造拠点形成事業		
計画に記載している内容	歴史・文化のまちづくりの中核拠点となる文化資料館において、さまざまな時代における歴史・文化の企画展を開催する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

① 企画展Ⅰ「『紙漉村旅日記』が語る和紙と時代」(令和4年6月4日から同年7月31日まで開催)  
 寿岳文章がおよそ80年前に全国から集めた40種を超える手漉紙を一堂に展覧した。本市の歴史的風致の一つである寿岳家の居宅・向日庵で保管されていた和紙関連の資料を紹介し、世界に誇るべき和紙文化の魅力と、本市が和紙文化研究の聖地と位置づけられることを広く発信することができた。関連事業として、記念講演会、記録映画上映会、紙漉き体験ワークショップ、日曜談話会を開催し、展示内容をより深く理解していただくことができた。

② 向日市教育150年記念学校展(令和4年11月5日から12月18日まで開催)  
 明治5年(1872)11月に本市域で最初の小学校が創立され、公的な教育活動が始まってから150年の節目を迎えることにちなみ、向日市教育150年の記念事業の一つとして、学校の歴史をふりかえる特別展を開催した。会期中、関連事業として、市内小中学校の校歌や応援歌を唄うコンサート(写真③)を市民有志による運営で開催し、幅広い市民の方々に参加いただくことができた。

④ 企画展Ⅱ「寿岳文章と向日庵本の世界」(令和5年2月23日から同年3月26日まで開催)  
 寿岳文章が残した英文学、和紙、書物など幅広い分野にわたる業績のうち、書物研究の実践的活動である“向日庵本”に焦点をあて、その出版物とともに、関係者とやり取りした書簡や制作経緯がわかる日記、装幀に関する資料や刊行台帳などを展示して紹介した。関連事業として、記念講演会、手彩色ワークショップを開催した。令和2年度から3年計画で進めてきた寿岳文章関係の一連の事業を通じて、20世紀の知の巨人・寿岳文章の業績を明らかにし、国内外に広く発信することができた。また、本企画展には、若い世代が多数来館するなど新たな歴史・文化資源の掘り起こしが、ターゲットの広がり要因になっていると考える。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



① 企画展Ⅰ「『紙漉村旅日記』が語る和紙と時代」  
(令和4年6月4日～同年7月31日)



② 向日市教育150年記念学校展  
(令和4年11月5日～12月18日)



③ 校歌を唄おう♪コンサート  
(令和4年12月18日)



④ 企画展Ⅱ「寿岳文章と向日庵本の世界」  
(令和5年2月23日～3月26日)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歴史資源調査活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和59年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市に点在する歴史・文化資源を活かしたまちづくりや歴史的風致維持向上計画の推進のため、歴史的風致形成建造物などの歴史・文化資源に関連する現地調査や歴史資料の調査整理を行うとともに、調査結果を活用し、歴史講座の開催や今後のまちづくりへの活用検討などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①市民寄贈の戦争関連資料を調査し、テーマ展示「くらしのなかの戦争展」を開催した。②市民サークルの活動で戦時下の隣保班記録簿を読み進めた成果をもとに、日曜談話会「隣保班の記録簿で読む昭和16年の向日町」を開催した。③市内の歴史資料の一部を活用し、市民サークルの自主学習を支援した。④収蔵品管理システム付属アプリで市内の道標及び愛宕燈籠の画像や釈文、位置情報などのデータを公開し、情報発信を強化した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



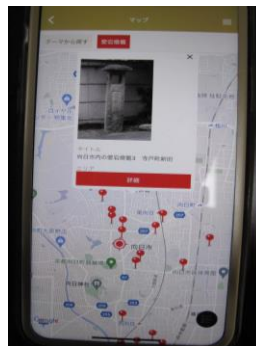
テーマ展示「くらしのなかの戦争展」  
(令和4年7月16日～8月28日)



日曜談話会「隣保班の記録簿で読む昭和16年の向日町」  
(令和4年7月24日)



江戸時代中期まで物集女地区に存在していた寺院について記された冊子を解説する活動に関連し、専門家の講話で物集女地区の寺院や物集女氏について学んだ歴史サークル古文書班特別例会(令和4年4月16日)



クラウド型収蔵品管理システム  
付属アプリによる情報発信  
(向日市内の愛宕燈籠)



向日市内の愛宕燈籠3 寺戸町新田  
テーマ : 愛宕燈籠  
明治29年(1896) 建立 高さ157cm <正面>愛宕大神  
<右>町内安全 <左>明治二九年五月建立

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
市民歴史活動連携事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	向日市まつりなど本市で開催されるイベントと連携して行われる歴史・文化の市民活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年4月下旬から5月上旬にかけて、事前申込制で復元古代衣裳の着用体験を実施し、古代衣裳製作ボランティアが着付けと説明を行った。衣裳を通じて、古代の都・長岡京をPRすることができた。<参加者数:8人> また、令和4年6月25日(土)、藤原京の時代から長岡京期までの約200年間の衣裳の変遷や時代背景について、古代衣裳研究家による講演会を開催した。ボランティアが補佐して復元古代衣裳の現物を見ながら説明していただき、直線裁ちの和服が着られるようになる以前の衣裳について楽しく学んでいただくことができた。<参加者数:21人>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



古代衣裳着用体験



古代衣裳の製作やメンテナンスを手がけるボランティアが復元古代衣裳を掲げ、説明を補佐



古代衣裳公開研修  
講演会「飛鳥時代・藤原京・平城京・長岡京 200年間の衣裳変遷」  
(令和4年6月25日)

評価軸③-10  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
地域歴史ボランティア養成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和6年度		
支援事業名	平成29年度～平成30年度:社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) 令和元年度～令和6年度:市単独事業		
計画に記載している内容	ボランティアとして、本市に多数存在する歴史・文化資源を説明案内する活動をしている団体に対し、さらなるボランティアの養成などを行うため、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
観光を通じたまちづくりを担う人材育成プログラム「むこう観光スタートアップ講座」のガイド班から、市民団体「古都のむこうまちブラガイド」が発足し、現在9名(令和4年3月末時点から3名加入)で活動中。 自主事業として向日市を巡るガイドツアーを実施。その他の活動として、メンバー募集を兼ねた懇談会や、他市のガイドと連携した合同ガイドツアーを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



<古都のむこうまちブラガイド>



- <令和4年度 活動回数及び活動内容>
- 4月:2回 KBS京都「きょうとDays」収録等
  - 5月:2回 まちあるき
  - 6月:3回 まちあるき
  - 7月:1回 まちあるき
  - 8月:活動なし
  - 9月:活動なし
  - 10月:5回 まちあるき、交流会
  - 11月:4回 まちあるき等
  - 12月:1回 交流会
  - 1月:活動なし
  - 2月:1回 交流会、まちあるき



<ガイドコース>  
令和4年10月15日(日)  
ガイドツアーの様子



<ガイドコース>  
令和4年11月7日(月)  
ガイドツアーの様子

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)に関すること		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域内に存在する指定等文化財について、文化財の周辺環境も含めて保存活用の検討を行い、文化財指定の有無を問わず、文化財を市民の遺産として守り育てるという市民意識の醸成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
(1) 平成31/令和元年度に貴重な歴史・文化遺産である史跡長岡宮跡の価値を確認し、その価値を維持し、次世代へと確実に継承していくことを目的とし、保存・管理・活用を行うための指針として、「史跡長岡宮跡保存活用計画」を策定した。 本年度は、本活用計画に基づき史跡長岡宮跡の内裏外郭築地地区を整備し「南内裏公園」として、内裏内郭築地回廊地区を整備し「旧上田家住宅」として供用を開始した。			
(2) 本市の歴史・文化遺産全体の保存・管理・活用を行うための指針として「向日市文化財保存活用地域計画(仮称)」の策定について準備を進めた。			
(3) 史跡乙訓古墳群の保存・管理・活用を行うための指針として「史跡乙訓古墳群保存活用計画(仮称)」の策定について、史跡が所在する乙訓2市1町文化財担当課で構成する「乙訓文化財事務連絡協議会」で令和2年度から協議を始め、令和4年度は京都市及び京都府の文化財担当課を加えた会議を開催し事業の加速化を計画したが、コロナ禍により進めることができなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		引き続き、文化財を適切に保護し活用の促進を通じ、地域振興・観光振興に努め、魅力あるまちづくりに寄与する。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備計画イメージパース 五塚原古墳</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備計画イメージパース 寺戸大塚古墳</p> </div> </div>			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、文化財の防災に関すること		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財は、火災や事故、盗難などにより消滅や毀損すれば、再び回復することが不可能になることがある。文化財の保存修理(整備)が必要な場合は、文化財の価値を損なうことなく損傷箇所などの修理を行う必要がある。文化財の所有者・管理者は、文化財の保存修理について深く認識し、施設の維持管理と修繕、周辺環境の整備、日常の保守点検の強化、関係機関との密接な連絡等を徹底し事故等の根絶を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- (1)文化財の修理事業  
 国や府の補助を活用しながら必要性の高いものから計画的に修理を進めており、本計画終了後も継続的に実施していく必要があると考えている。  
 重要文化財 向日神社本殿ほか 自動火災報知器等点検補助  
 国登録有形文化財 向日神社手水舎 保存修理補助  
 京都府指定文化財 南真経寺開山堂・本堂 自動火災報知器等点検補助  
 京都府指定文化財 須田家住宅 自動火災報知器等点検補助  
 未指定文化財 誓弘寺 木造地藏菩薩立像 保存修理補助
- (2)文化財の周辺環境整備  
 竹林ボランティアによる寺戸大塚古墳の竹林整備
- (3)文化財の防災(防火・防犯等)  
 ①文化財立入検査 令和5年1月23日(月) 向日神社、南真経寺、北真経寺(実施)  
 ②文化財消防訓練 令和5年1月25日(水) 南真経寺(大雪のため中止)  
 ③文化財・防火点検周知 市内一円の社寺に送付  
 ④その他
- 令和4年12月13日  
 市内指定等文化財の所有者管理者に年末年始の「文化財等の防火防犯の徹底について」を送付
  - 令和5年1月6日  
 文化財防火ポスターを市内の国・府指定等文化財文化財所有者らに送付
  - 令和5年1月6日  
 市内指定等文化財の所有者管理者に「第69回文化財防火デーの開催について」案内

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 引き続き、各種の文化財調査の修理事業、環境整備、防火防犯等の保存措置を講じる。

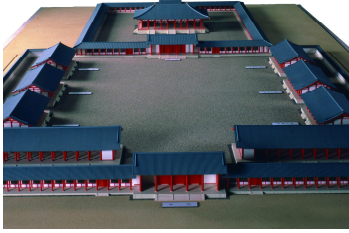
状況を示す写真や資料等



評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組みに関すること		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化資料館等の施設を有効に活用し、企画の充実を図るとともに、関係施設の連携を深め、文化財の資料収集や調査研究を推進するとともに、施設機能の充実と公開活用を行い、一体的な情報発信に取り組むこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1 文化財の普及啓発の取組(展示、講座、講演会、教室等) (1)文化資料館常設展示「長岡京の歴史と文化」年間入館者数 10,298人 (2)史跡長岡宮跡朝堂院公園史跡案内 年間見学者数 4,347人(R5.3月末まで) (3)史跡長岡宮跡旧上田家住宅史跡案内 年間見学者数 7,512人(R5.3月末まで) (4)市民考古学講座(4回)・関連講演会(1回開催) 講座等参加者数 116人・講演会参加者数 30人 (5)埋蔵文化財調査成果展示会「物集女城出現とその背景」(R4.9.10～10.23)期間中入館者1,643人 (6)埋蔵文化財調査成果展示会関係講演会「西岡の中世城館と物集女城」(R4.10.2) 参加者数 40人 (7)AR長岡宮の活用 ダウンロード数4,787回(累計18,228回) 貸出タブレット利用者 6人(累計5,275人)(R5.3月末まで) (8)墳タビ!物集女塚塚古墳の活用 4,628回(累計10,059回)(R5.3月末まで) (9)文化資料館企画展・特別展 企画展Ⅰ『『紙漉村旅日記』が語る和紙と時代』(R4.6.4～R4.7.31) 期間中入館者数 1,422人 向日市教育150年記念学校展 (R4.11.5～R4.12.18) 期間中入館者数 1,324人 企画展Ⅱ「寿岳文章と向日庵本の世界」(R5.2.23～R5.3.26) 期間中入館者数 1,158人 (10)文化資料館テーマ展示 企画展プレ展示「寿岳文章が集めた和紙」(R4.4.2～R4.5.29) 期間中入館者数 1,337人 「くらしのなかの戦争展」(R4.7.16～R4.8.28) 期間中入館者数 1,709人 「くらしの道具展」(R5.1.21～R5.2.16) 期間中入館者数 1,021人 (11)夏休み親子歴史教室 「つくって学ぶ、さわって感じる 和紙文化と向日庵」(R4.7.28・29 講師:NPO法人向日庵理事) 参加者数 14人 (12)日曜談話会 「寿岳夫妻が旅した日本」(R4.6.12) 参加者数 11人 「隣保班の記録簿で読む昭和16年の向日町」(R4.7.24) 参加者数 19人 「校歌で知る学校の歴史」(R4.9.4) 参加者数 17人 「夜学場と実業補習学校」(R4.11.27) 参加者数 16人 (13)古代衣裳公開研修「飛鳥時代・藤原京・平城京・長岡京 200年間の衣裳変遷」(R4.6.25) 参加者数 21人 (14)歴史講座「新京阪鉄道と向日町」(R4.6.19) 参加者数 57人 (15)歴史文化交流センター活用事業 「なんとなくがおもしろい ぶら～り向日市」 (R5.3.19 講師:向日市文化資料館長、向日市文化財調査事務所長、京都大学人文科学研究所教授、京都大学大学院工学研究科教授) 参加者数 14人 竹の径の整備を外国人研究者が関心をもち海外でも発信されている例もあり、老若男女問わず、また海外の方も参加された。 (16)令和4年度調査研究成果展「長岡宮内裏の甍」(R5.3.7～3.19)期間中入館者236人  2 民間団体への助成・支援 大極殿遺蹟保存協賛会 文化活動補助 40,000円 森本遺蹟保存会 文化活動補助 19,000円  3 民間団体との連携・協力 市民団体行事及び向日市まつりでの埋蔵文化財出土遺物展示 新型コロナウイルス感染防止のため中止			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			



1 文化財の普及啓発の取組



(1)文化資料館常設展示  
「長岡京の歴史と文化」(通年)



(2)史跡長岡宮跡 朝堂院公園  
園史跡案内(通年)



(3)史跡長岡宮跡旧上田家  
住宅史跡案内(通年)



(4)-1市民考古学講座  
(令和4年10月1日)



(4)-2市民考古学講座



(5)埋蔵文化財調査成果展示会  
(令和4年9月10日～10月23日)



(6)埋蔵文化財調査成果展示会



(7)AR長岡宮の活用



(8)墳タビ！物集女車塚古墳



(9)向日市教育150年記念学校展  
(令和4年11月5日～12月18日)



(10)文化資料館テーマ展示  
「くらしのなかの戦争展」  
(令和4年7月16日～8月28日)



(11)夏休み親子歴史教室「つくって学ぶ、  
さわって感じる 和紙文化と向日庵」  
(令和4年7月28・29日)



(12)日曜談話会  
「夜学場と実業補習学校」  
(令和4年11月27日)



(15)「なんとなくが面白い  
ぶら～り向日市」  
(令和5年3月19日)



(16)令和4年度調査研究成果展  
「長岡宮内裏の薨」  
(令和5年3月7日～3月19日)

進捗評価シート		(様式1-5)
評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
旧暦 ひな祭り華やか	R4.4.2	京都新聞
寿岳文章氏 絶賛和紙も	R4.4.4	京都新聞
あんどん90個 桜と競演 向日・噴水公園	R4.4.6	京都新聞
西山の寺社など巡ろう	R4.4.13	京都新聞
向日 ブラッと巡って 市、市民ガイドと名所・店舗紹介マップ	R4.4.24	京都新聞
古墳囲みによきによき 向日市・竹の径	R4.5.3	京都新聞
3年ぶりにご神体巡行 氏子ら平安、五穀豊穡祈る	R4.5.11	京都新聞
竹の径や名所巡り散策 向日でウオーキングツアー	R4.5.15	京都新聞
白竹天日干し 梅雨前に大詰め	R4.5.25	京都新聞
寿岳の軌跡 全国の和紙で紹介	R4.6.5	京都新聞
物集女城公園 きょうオープン 観光ルート休憩所に	R4.6.6	京都新聞
向日発祥「旭米」植えたよ	R4.6.21	京都新聞
青モミジとアジサイ柄 御朱印に 乙訓・西京の寺社など20カ所	R4.6.21	京都新聞
古代衣装ボランティア 長岡京の歴史・文化触れて	R4.6.23	京都新聞
おくどさんで郷土の味 親子らタケノコご飯	R4.6.27	京都新聞
VRで長岡宮探索 朝堂院・大極殿公園で校外学習	R4.6.30	京都新聞
寿岳文章監修の記録映画上映	R4.7.7	京都新聞
無病息災願い 茅の輪ぐり 向日神社で「夏越の祓」	R4.8.1	京都新聞
「九九」木簡に熱視線	R4.8.7	京都新聞
古都のむこう まちブラガイド 歴史身近に面白く案内	R4.9.8	京都新聞
物集女と中央権力 密な関係	R4.9.24	京都新聞
物集女城公園に時計と桜 「国史跡指定へ努力」	R4.10.9	京都新聞
物集女城紹介「保存活用」を	R4.10.20	京都新聞
長岡宮の回廊跡 一目で	R4.11.23	京都新聞
向日の魅力発信へ提言 歴史遺産学びプレゼン	R4.11.29	京都新聞
向日の歴史・文化 作品に 自動・生徒、学習成果発表	R4.12.26	京都新聞
手水舎の修復工事完了	R5.1.14	京都新聞
歴史文化の知識 腕試し 向日市ふるさと検定 古墳群や名産の竹、76人挑む	R5.2.9	京都新聞
生活支えた 懐かしの道具 向日で展示 明治一昭和期の80点	R5.2.11	京都新聞
向日の史跡巡り 盛況	R5.2.12	京都新聞
街道あでやかひな人形めぐり 商店や旧家 34団体参加	R5.3.2	京都新聞
向日の埋蔵文化財調査研究成果展 長岡宮東宮跡 出土瓦一堂に	R5.3.9	京都新聞
向日・文化資料館で「向日庵本」企画展 寿岳の書物工芸に迫る	R5.3.24	京都新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
新型コロナウイルスの影響により中止となるイベントはあったものの、3年ぶりに「向日市ふるさと検定」を実施し、本市の歴史・文化資源に対する理解を深める機会の創出とともに、地域への愛着を深める取組みを図ることができた。また、向日市観光協会主催のもと、同じく3年ぶりに「竹の径・かぐやの夕べ」が開催されるなど、市を挙げて地域資源や観光資源を活用したPRやイベントなどに取り組むことができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 令和4年度第1回向日市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時： 令和5年2月15日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>○阪急洛西口駅周辺の区画整理が進められているが、物集女、洛西口駅周辺の広大な市街化調整区域については、今後、開発が進むものと考えている。開発は進めながらも従来の景観を残す、歴史的風致や過去の土地利用(用水路、池など)の名残ある形での整備を考えてもらいたい。</p> <p>○これまでに実施した歴まち事業のまちあるきでも過去の土地利用などについて、実際に見聞きしてきたが、そういった歴史的な背景も将来の土地活用の中で意識してもらいたい。</p> <p>○歴まち計画策定後、景観や風致について、より深く考えられており、これまでの向日市の印象とはまた異なる印象を発信できている。竹の径の整備を外国人研究者が関心をもち海外でも発信されている例もあり、文化資料館の寿岳文章の企画展にも若い世代が多数来館されるなど、新たな歴史・文化資源の掘り起こしが、ターゲットの広がり要因になっている。</p> <p>○京都府でも積極的に農産物のアピールをしているので、向日市観光交流センター「まちてらすMUKO」でも、もっとPRしていければ良いと思う。 新しい商品も良いが、今後、地域に根付くような商品やお店が生み出すことができれば、もっと施設として良くなると思う。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>○文化財の修理について、国や府の補助を活用しながら必要性の高いものから計画的に修理を進めており、歴まち計画終了後も継続的に実施していく必要があると考えている。</p> <p>○市街化調整区域の農家は後継者不足等の問題から、地区計画制度のもと土地区画整理組合が、景観に配慮した土地利用を検討し、整備を進めているところ。今後においても周辺景観との調和に配慮した土地利用や、農地の集約による営農環境の保全など、計画的な土地利用を指導していきたいと考えている。</p>	